



主力商品（活スルメイカ）

- 本社所在地：北海道函館市
- 事業概要：活イカ、活魚を主力とした水産物全般の国内卸売(株)春木商店、(株)札幌春木商店、(株)ノルキ、「函館朝市」内での小売店舗販売、活蟹、貝類、高級魚の輸出(株)リンクス北海道)、及び飲食店「gyogyo」の経営
- 常時使用する従業員：54名(グループ全体・2025年4月時点)
- 現在の売上高：27億円（グループ全体・2025年2月期）
- 法人番号：8440001004790
- Web：http://haruki-livingfish.co.jp/

株式会社春木商店（卸/小売/輸出業,飲食店）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
春木 日出夫

北海道から全国、そして世界へ 海の命を信頼でつなぐ

春木商店は北海道の南口函館を本社拠点とし、グループ会社(札幌・東京)のネットワークを強みに新鮮かつスピーディーにお客様に寄り添った商いをスローガンとしています。
2010年より輸出の第一歩を踏み出し、2021年からは北海道を代表する活蟹・活貝など高級魚貝類の取り扱いも本格化。2035年・年商100億円を目指し、世界への日本ブランドの確立を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高達成に向け、強みである活魚類の販路拡大、及び輸出部門の強化にて年率10-16%程度の成長を目指す。

図 別紙参照

課題

- ・活魚貝類取り扱い拡大に伴う、大型水槽設備・倉庫増強への投資
- ・高級志向市場(中国・香港・シンガポール・アメリカ・カナダ等)への販路拡大、現地カスタマーとの信頼及びリスク管理の強化
- ・経営層、中間管理職の育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

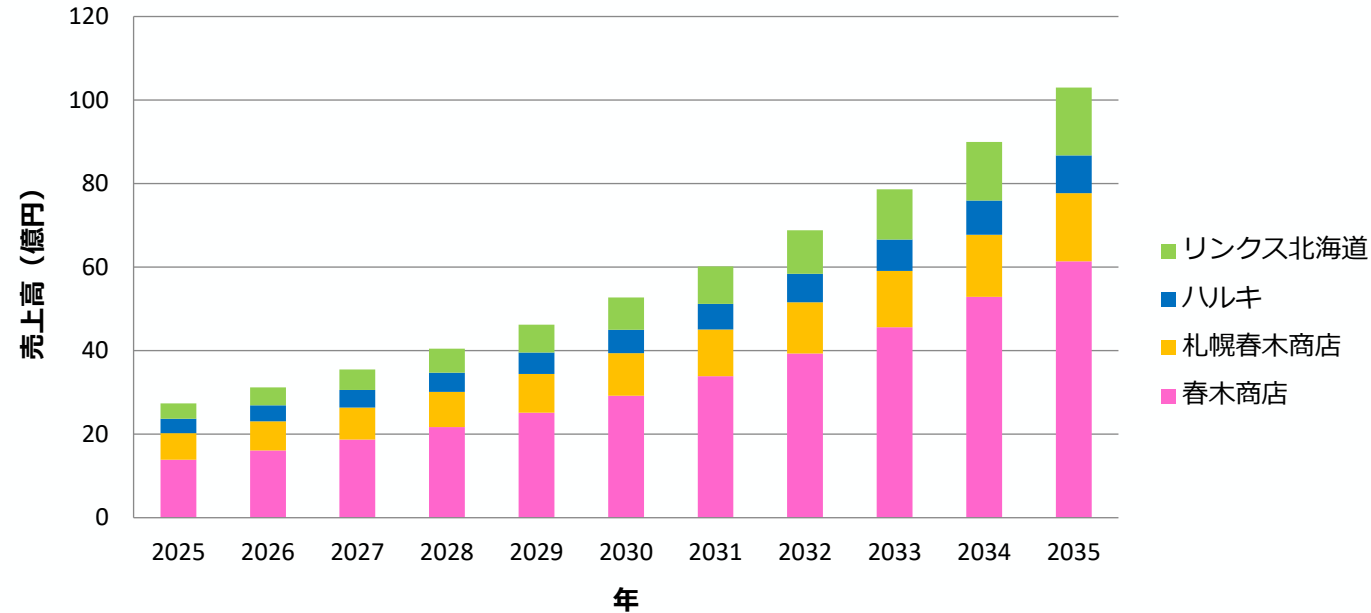
- ・活魚水槽の新設及び新倉庫建設にて、活イカ、魚、蟹、貝類などを備蓄し、天候による影響を最小限にとどめ、取扱量の増加による売上拡大
- ・既存輸出ルート強化と新規顧客開拓により、高品質水産物の輸出販路拡大

実施体制

- ・組織体制再構築に向け現スタッフの教育、管理リーダーの設置、新スタッフの増員
- ・英語・中国語等多言語対応スタッフを柱に既存顧客との信頼関係をより深め新しい商品の提案、輸出ルートの新規開拓

売上高100億円実現の目標と課題

グループ売上高推移



株式会社 春木商店

- ・活イカ,魚貝類全般の卸売業
- ・「函館朝市」内にて小売業
- ・飲食店「gyogyo」の経営

株式会社 札幌春木商店

活イカ,魚貝類全般の卸売業

株式会社 ハルレキ

活イカ,魚貝類全般の卸売業

株式会社 リンクス北海道

国外輸出事業